



2019年 SUPER GTシリーズ Round.8 ツインリンクもてぎレースレポート

#6 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S

WAKO'S 4CR LC500

Kazuya OSHIMA

Kenta YAMASHITA

Team Le Mans



大会概要

2019年スーパーGTシリーズ 第8戦（最終戦）

大会名称

2019 AUTOBACS SUPER GT Round 8 MOTEGI GT 250km RACE

開催日時

11月2日 土曜（予選） 11月3日 日曜（決勝）

開催サーキット

ツインリンクもてぎ ロードコース（1周 4.801km） 所在地：栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

同時開催レースカテゴリー

・2019 FIA-F4選手権 第13戦&第14戦 ・2019 Honda Sports&Eco Program FIT 10リッターチャレンジ

主催

株式会社GTアソシエーション（GTA） / エム・オー・スポーツクラブ（M.O.S.C） / 株式会社モビリティランド

公認

国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション（GTA）

後援

経済産業省 / 国土交通省 / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟 / 茂木町



◆ #6 LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S 参戦体制

■ ドライバー



大嶋 和也
KAZUYA OSHIMA

生年月日 1987年4月30日
出身地 群馬県
身長 171cm
体重 61kg
血液型 RH+A

■ 監督



脇阪 寿一
JUICHI WAKISAKA

生年月日 1972年7月29日
出身地 奈良県
身長 177cm
体重 63kg
血液型 RH+AB



山下 健太
KENTA YAMASHITA

生年月日 1995年8月3日
出身地 千葉県
身長 175cm
体重 63kg
血液型 RH+AB

■ スタッフ

チーフエンジニア 阿部 和也
チーフメカニック 寺尾 由貴

■ スポンサー

株式会社和光ケミカル	株式会社ニチネン	株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
株式会社前田シェルサービス	引田時計店	トヨタ・ヤング・ドライバーズ・プログラム
株式会社オウルテック	広島化成株式会社	トヨタ自動車株式会社
DMG森精機株式会社	エンバイヤ自動車株式会社	株式会社ブリヂストン
株式会社三笠製作所	株式会社不二WPC	
林テレンプ株式会社	リンテック株式会社	
株式会社タミヤ	株式会社アシックスジャパン	



◆ 予 選

天気	晴れ
コース状況	ドライ
気温	19度 (GT500クラスQ1開始時)
路面温度	25度 (GT500クラスQ1開始時)
予選開始	14時20分 (GT500-Q1開始)



日本のみならず、世界的に見ても高い競技レベルと圧倒的な人気を誇るレースカテゴリー「SUPER GT」。2019年のシリーズ戦も最終戦となった。今年も決着地はツインリンクもてぎ（ロードコース）だ。シーズン最短となる250kmのスピードバトルでシリーズタイトルの行方が決まる。LEXUS TEAM LEMANS WAKO'Sの大嶋和也&山下健太は今季2勝をあげるなど活躍、ドライバーズポイントランキング堂々1位で最終戦へと臨む。決勝2位以内に入れば自力でGT500クラスドライバーズチャンピオンを獲得できる。その最終戦は原則ノーハンドの設定（GT500は全車ノーハンド）。好成績ゆえにここ数戦に渡り付き合ってきた厳しいハンドから解放され、#6 WAKO'S 4CR LC500は両ドライバーとともに本来の速さを発揮できる。脇阪寿一監督体制のもと、2016、17年と惜しくも届かなかった王座を今度こそつかみたい。チーム一丸、全力でシーズンの総仕上げにかかる。

#6 WAKO'S 4CR LC500

予選結果：2位（予選Q1ベストタイム：1分36秒885／大嶋選手）
（予選Q2ベストタイム：1分35秒999／山下選手）

2段階ノックアウト予選はドライ路面での戦い。Q1には大嶋が出走し、まずは7位でここを突破した。そしてチームは大嶋のフィードバックをもとに、山下が挑むQ2に向けて入念な準備をする。Q1では計測3～4周目に連続アタックするかたちで4周目がベストだったが、タイヤのウォームアップ傾向を考慮し、Q2では計測4周目に絞って臨んだ方が良くと判断、山下はそのプランでアタックへ。1分35秒999をマークし、見事に予選2位を獲得した。



◆ 決 勝

天気	曇り
コース状況	ドライ
気温	20度（スタート時）
路面温度	26度（スタート時）
決勝レース開始	13時30分
レース周回数	53周（約250km）



#6 WAKO'S 4CR LC500（大嶋和也選手&山下健太選手）

決勝結果：2位（所要時間：1時間31分38秒037／ベストラップ：1分39秒372＝大嶋選手）

＜GT500クラスドライバーズチャンピオン獲得!!＞

タイトル獲得をかけての最終戦決勝、やはりドライコンディションでの戦いにWAKO'S 4CR LC500は大嶋が先発、山下が後半を担当する布陣で挑む。2番手発進から優勝か2位なら自力でドライバーズチャンピオン獲得。3位以下の場合は、唯一のライバルとなった37号車（予選4位）の順位次第だ。

1周目、大嶋はタイヤの発動がもうひとつというところで、3ポジションダウンの5番手に。しかし反撃に転じて、19周目には3番手まで順位を戻す。その周を終えるところで、タイトルを争う37号車が2番手の位置からルーティンのピットストップへ。翌周にはトップの36号車もピットへと入り、ここでWAKO'S 4CR LC500もピットへ。交代した山下がコースに戻った位置はピットストップ前と変わらず、36号車と37号車に次ぐ実質3番手だ。

GT500クラスの全車がピットストップを終えた段階で、36号車、37号車、山下の3台がトップ3に。仮にこのままの順位状況でレースが終われば、大嶋と山下がチャンピオンである。しかし32周目に37号車がトップに浮上し、山下が36号車を抜いてこのレースの2位にならないと王座を逃す状況に。山下は懸命に追いかけた。そして38周目、ともにコースアウトするシーンも含む熾烈な格闘戦を経て、山下は36号車の前に出ること成功する。

肉弾戦の影響でマシンにはバイブレーションが出るなどしたが、阿部エンジニアをはじめとする技術陣とメカニックたちが用意したマシンは最後まで山下の走りを支え続けるマシンであった。最終戦2位、大嶋と山下はドライバーズチャンピオンに輝き、脇阪監督体制4年目、ついに大願成就となった。



大嶋和也選手のコメント

もてぎに来るまでは不安もありましたけど、とにかく「やれることは全部やっておこう」ということで、さらに体重を絞ったりして準備してきました。僕自身は参戦11年目、ついにGT500王座を獲れてホッとしています。思うような結果が出ない時期も含め、僕を信じて支えてくれた人たちに感謝です。今シーズン、チームに加入してくれた阿部さんや健太が本当にいい仕事をしてくれました。チームみんなの力でチャンピオンが獲れて良かったです。

山下健太選手のコメント

厳しい展開でした。36号車を抜いて2位にならなければチャンピオンになれないことは分かっていたので、あそこはもう絶対に退けないし、退くつもりもありませんでした。少しでも気の迷いがあったら抜けないと思い、強い気持ちをもっていきました。チームのみんなも強い気持ちで戦い、ノームスのピット作業をしてくれていたのも、それに応えようとも思っていました。大嶋選手、脇阪監督、阿部さん、チームのみんなに感謝しています。

阿部和也エンジニアのコメント

シーズンを通しての戦いという部分で、最終戦2位でも自力でチャンピオンを獲れる状況をつくることができているのが大きかったと思います。第2戦以降の全戦で確実にドライバーズポイントを持ち帰ってきてくれたドライバーふたりに感謝ですし、チーム全員で獲ったチャンピオンです。

脇阪寿一監督のコメント

応援してくれたみなさん、長いあいだお待たせしました。勝てそうで勝てない、チャンピオンが獲れそうで獲れない、そんな時期もあったわけですが、ずっとチームを応援し続けてくれた方々に本当に感謝です。以前のレースでも話しましたが、僕はチームのみんなに対し、プロの仕事をするうえで「人を思い、人のために仕事をする」ことの大切さを常に言ってきました。そして今年、特に第3戦鈴鹿以降はそれをみんなが実践してくれました。もちろん人間ですから、いいときもあれば、そうでないときもあります。そこをしっかりとフォローし合って戦えた結果のタイトルだと思っています。

大嶋は今年、いいクルマをつくって若い健太のスピードを伸ばす新しい戦い方で、フォア・ザ・チームでよくやってくれました。今後の彼にも期待です。そして健太は、彼にポテンシャルあるマシンを与えればなんとかしてくれる、そういうドライバーです。ふたりを含めたチームのみんなに感謝しています。

シリーズランキング

大嶋和也&山下健太 チャンピオン / 85ポイント
チーム部門 2位 / 106ポイント



◆その他サーキット内イベント報告

◆観客動員数

開催期間中 延べ入場者数 約56,000人

11月2日 土曜 (予選日 天気: 晴れ) 20,500人

11月3日 日曜 (決勝日 天気: 曇り) 35,500人

◆ピットウォーク

開催日程 11月2日 11:45~12:30

11月3日 9:30~10:25

◆キッズウォーク

開催日程 11月2日 16:20~16:50

主催 GTアソシエーション、ツインリンクもてぎ

参加者 大嶋和也、山下健太

ピットロード開放エリアにて握手&サイン会、撮影会、グッズ提供等を行ない、今回もたくさんのお客様をお迎えすることが出来ました。決勝レース開始前にはグリッドウォークも実施されています。

